

# aiwa

レコードプレイヤー

## aiwa audio RPB

JA3-RPL0001

ユーザーマニュアル

# aiwa

レコードプレイヤー  
aiwa audio RPB

## ご使用前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや困ったことがあったときにお役立てください。

- ※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
- ※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- ※本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ※当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
- ※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ※本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

はじめに	4
セット内容	4
ご使用前のおことわり	5
安全上のご注意	6
使用上のご注意	11
電波法 / 電気通信事業法に関するご注意	11
電波干渉に関するご注意	11
電波障害に関するご注意	11
お手入れに関して	12
結露 (つゆ付き) に関して	12
廃棄に関して	12
各部名称	13
電源	17
電源の接続	17
レコードの再生	18
レコードを再生する	18
針の交換	21
針を交換する	21
Bluetooth 接続	23
本製品で再生した音楽を Bluetooth スピーカーに出力する	23
本製品のスピーカーから Bluetooth 機器の音楽を出力する	24
パソコンとの接続	25
パソコンに録音する	25
トラブルシューティング	27
主な仕様	28
アフターサービス	29

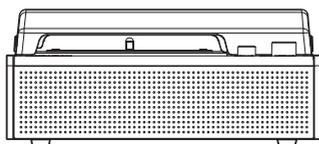
# はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

## セット内容

本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。  
※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

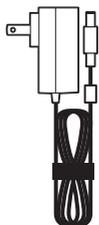
□ 本体



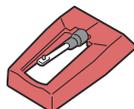
□ USBケーブル



□ AC電源アダプター



□ 交換針



□ 付属 CD

□ ユーザーマニュアル  
(本書、保証書添付)

## ご使用前のおことわり

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったことによって生じた故障や不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 停電や電力線上のノイズなどの外部要因、または天災や原因不明のネットワーク障害、そのほかの不可抗力によってお客様または第三者が受けられた損害（データの損失、そのほかの直接的、間接的な損害）、またはそれらによって生じた故障、もしくは不具合については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使い方を誤った場合や、静電気や電氣的ノイズの影響を受けた場合、または故障、修理の際は、記録内容が変化したり、消失したりする恐れがあります。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

 禁止 （してはいけないこと） 禁止	 水ぬれ 禁止	 ぬれた手 禁止
 分解しないこと 分解禁止	 指示を守ること （必ずしなければならないこと） 指示	 電源プラグを 抜くこと 電源プラグ を抜く

## 警告



指示

○下記の問題が発生した場合は、ただちにAC電源アダプターを外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品を落とした場合
- ・本製品が破損した場合

○コードが傷んだり、AC電源アダプターが異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

**上記の問題が発生した場合は、AC電源アダプターを取り外した後、サポートセンターにご連絡ください。**

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

## 警告



水ぬれ  
禁止

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。



禁止

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触したりした場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



ぬれ手  
禁止

- ぬれた手でAC電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

- テーブルクロスやカーテンなどを掛けたり、壁などに密接して、通風孔をふさがないでください。じゅうたんやふとんの上に置かないでください。火災・感電・やけどの原因となります。



禁止

- 水滴や飛沫にさらしたり、花瓶などの液体の入った物体を本製品の上に置かないでください。火災・感電・やけどの原因となります。



禁止

- 熱器具のそばでは使用しないでください。火災・感電・やけどの原因となります。



禁止

- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

## 警告



禁止

○落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となるおそれがあります。



禁止

○ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。



禁止

○下記の場所で充電・使用・放置しないでください。本製品の故障、感電、火災などの原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。

- ・直射日光の当たる場所、ストーブのそば、炎天下の車内など、温度の高い場所
- ・高温多湿の環境、油煙、ホコリの多い場所
- ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所
- ・水の近くや湿気の多い場所

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

## 注意



指示

○心臓の弱い方は、音量の設定に注意してください。大音量設定は心臓に悪影響を及ぼす原因となる可能性があります。



禁止

○本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。



電源プラグを抜く

○旅行などで長期間ご使用にならない場合や、お手入れ、点検、移動の際は、安全のためAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります



指示

○ほかの電気機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。その場合はほかの電気機器からできるだけ離してください。



禁止

○殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。



指示

○本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなる場合がありますので注意してください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

○本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカードなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

## 注意



指示

- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見たりした際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、ただちに使用を中止して医師の診断を受けてください。



指示

- AC電源アダプターや、ケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターや、ケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。
- お手入れのときや長期間使用しないときは、AC電源アダプターを抜いてください。火災や感電の原因となります。
- 端子がうまく差し込めないときは、端子の形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと故障や破損の原因となります。
- AC電源アダプターやケーブルを接続して本製品をご利用になる場合は、端子部に負荷をかけないよう注意してください。
- 水などの液体が入った場合は、ただちにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、ほこりが付着して火災や感電の原因となります。

# 使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

## 電波法/電気通信事業法に関するご注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などに関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術適合認定などに関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本製品に印字されております。
- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効になった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

## 電波干渉に関するご注意

- 本製品の使用する周波数帯では電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。本製品の使用前には、近くに上記に該当する「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。万が一、本製品と上記に該当するほかの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の使用を停止してください。

## 電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内、屋外の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。
  - ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
  - ・ケーブルは付属のものを使用してください。

# 使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

## お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

## 結露(つゆ付き)に関して

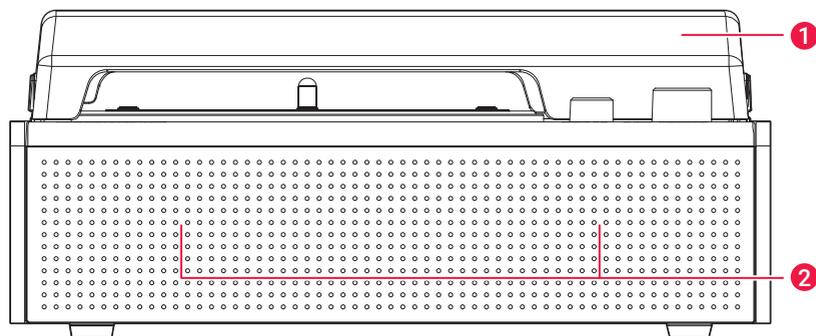
- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
  - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
  - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
  - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
  - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2～3時間程度室温で放置し、付着した水滴がとれるまでお待ちください。

## 廃棄に関して

- 箱や緩衝材  
パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。

# 各部名称

## 本体前面



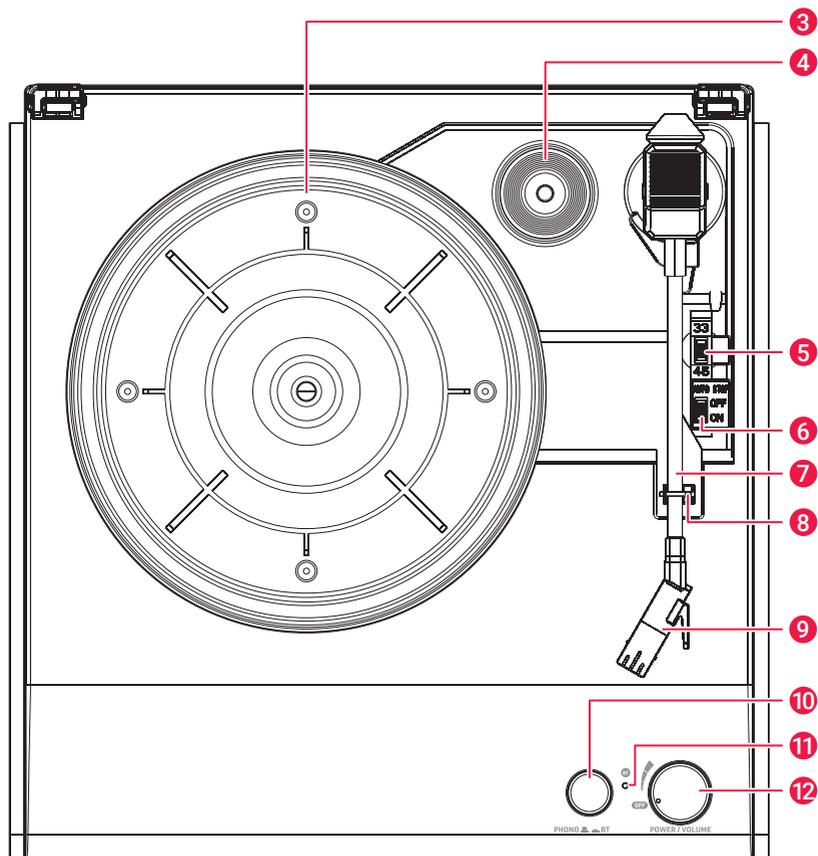
### ① カバー

ほこり除けのカバーです。レコードを取り付ける際に開けてください。

### ② スピーカー

# 各部名称

## 本体上面



# 各部名称

## ③ ターンテーブル

## ④ スピンドルアダプター

45回転のEP盤を再生する際に使用します。

## ⑤ 回転数セレクター

レコードの回転数を33回転または45回転から選択します。

## ⑥ オートストップスイッチ

オートストップのオン/オフを選択します。

- オートストップは33回転のレコードが対象です。
- 場合によってレコードの再生が終了していても回転が停止することがあります。その場合、オートストップをオフにしてください。
- 場合によって再生が終了しても回転が停止しないことがあります。その場合は手動で回転を停止させてください。

## ⑦ トーンアーム

## ⑧ トーンアームホルダー

トーンアームを固定します。

## ⑨ ヘッドシェル

## ⑩ PHONO/Bluetooth ボタン

ボタンが押されていない場合、通常のレコードプレイヤーとして使用できます。ボタンを押すと、Bluetoothスピーカーとして使用できます。

## ⑪ Bluetooth LED インジケーター

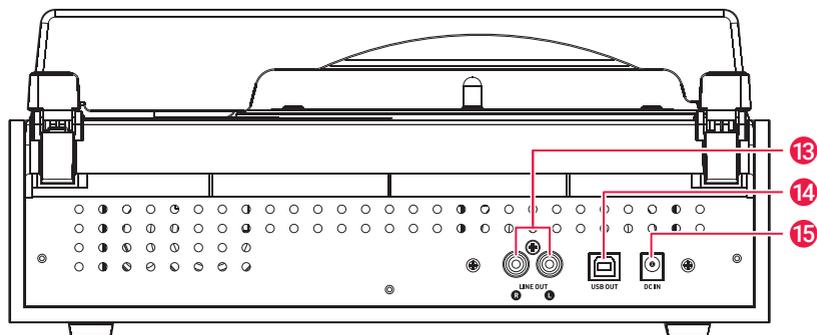
PHONO/Bluetooth ボタンを押したときに点滅し、Bluetooth接続時に点灯します。

## ⑫ 電源 / 音量ダイヤル

電源をオン/オフにします。電源オン時に左右に回して音量を調整できます。

# 各部名称

## 本体背面



### 13 RCA出力端子

再生中のレコードの音声信号が出力されます。

### 14 USBポート

付属のUSBケーブルでパソコンと接続し、レコードの音声信号をパソコンに送信できます。

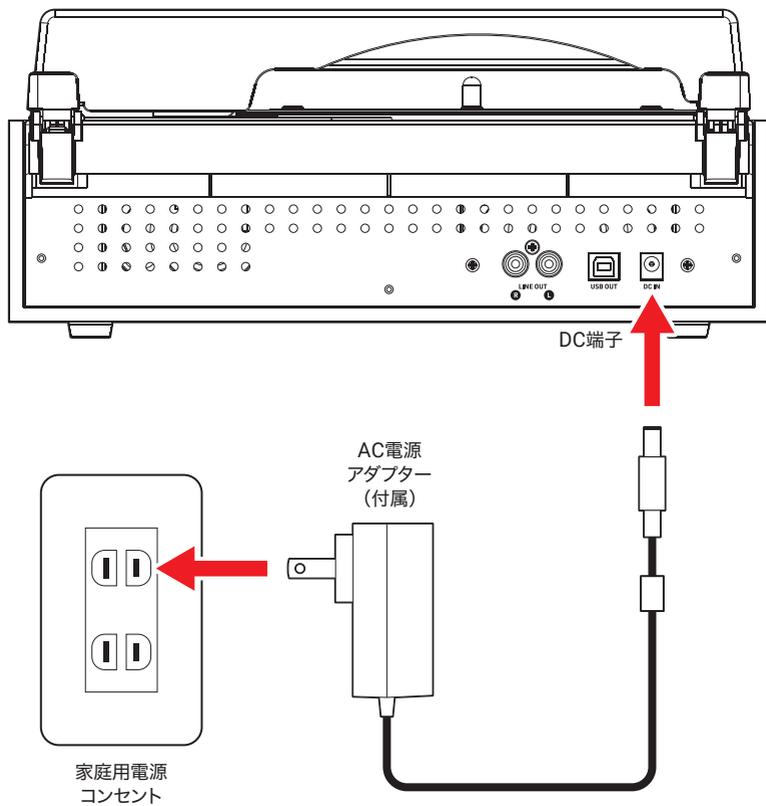
### 15 DC端子

付属のAC電源アダプターを接続します。

# 電源

## 電源の接続

下図のように本製品と AC 電源アダプターを接続します。

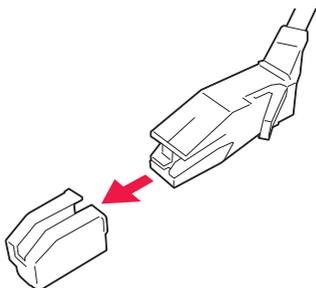


# レコードの再生

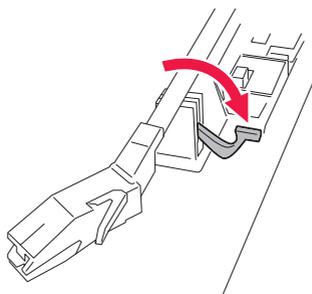
## レコードを再生する

下記の手順でレコードを取り付け、再生します。

- ① カバーを上げます。
- ② 針のプロテクターを外します。



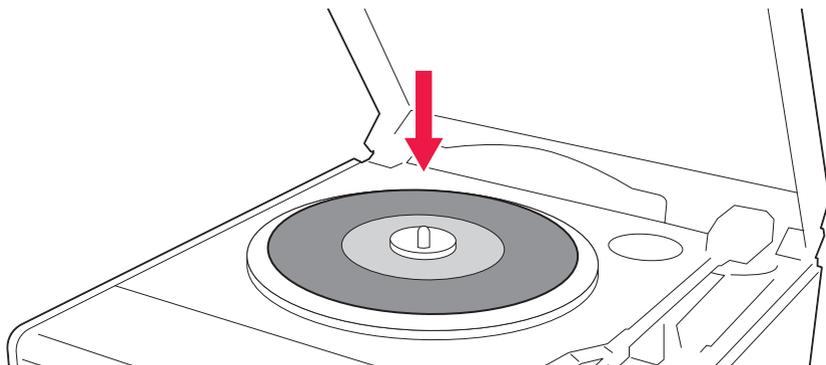
- ③ トーンアームホルダーを外します。トーンアームが自由に動かせることを確認してください。



- トーンアームを使用しないときは、トーンアームホルダーでトーンアームを固定してください。

# レコードの再生

- ④ レコードをターンテーブルの上に置きます。



- EPレコードの場合は、スピンドルアダプターを取り付けてからレコードを取り付けてください。

- ⑤ 回転数セレクターを選択します。

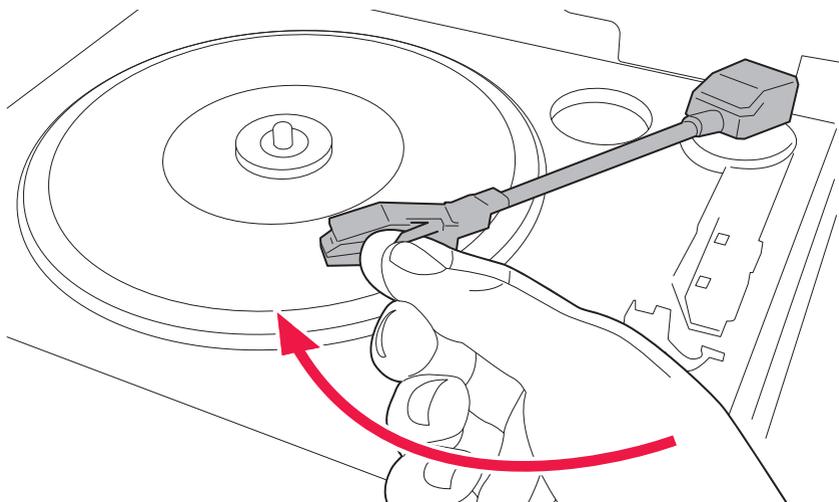
- 33回転レコードの場合は「33」、45回転レコードの場合は「45」を選択してください。

- ⑥ 電源 / 音量ダイヤルを時計回り（右回り）に回すと、カチッと音がして電源がオンになります。

- PHONO/Bluetooth ボタンは押さず、「PHONO」の位置にしてください。
- オートストップがオフのときはターンテーブルが回転します。

# レコードの再生

- ⑦ ヘッドシェルの指掛けを持ち、ゆっくりとレコード側に動かします。



- オートストップがオンのときはトーンアームをレコード側に移動させるとターンテーブルが回転します。

- ⑧ 針先をレコードの上に静かに置きます。音楽が再生されます。

- オートストップがオンのときは音楽が終了すると自動的にターンテーブルが停止します。
- オートストップがオフのときは音楽が終了してもターンテーブルは停止しません。
- オートストップは33回転のレコードが対象です。場合によってレコードの再生が終了していても回転が停止することがあります。その場合、オートストップをオフにしてください。

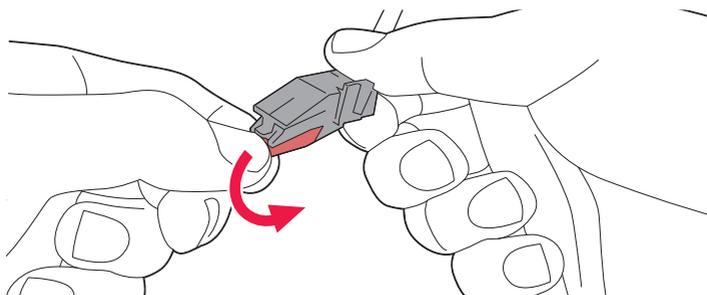
- ⑨ 再生を終了する場合は、トーンアームをレコードから持ち上げます。

# 針の交換

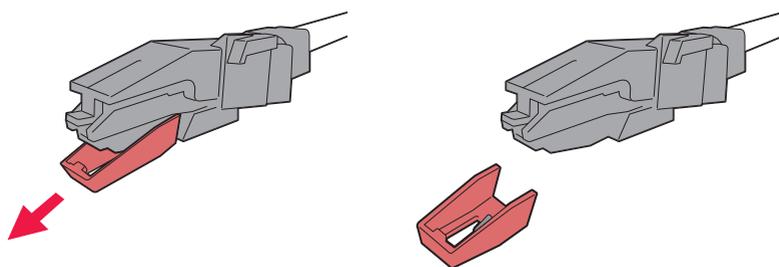
## 針を交換する

下記の手順で針を交換します。

- ① ヘッドシェルをしっかりと持ち、交換針（赤い部品）の前部分を下向きに回転させるように押し下げます。

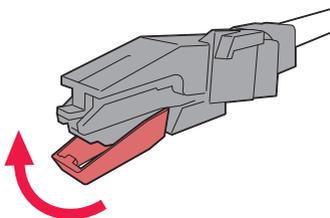


- ② そのまま交換針を取り外します。



# 針の交換

- ③ 新しい交換針を下から差し込みます。
- ④ 差し込み部分を支点にして、カチッと音がするまで交換針を上方向に差し込みます。



- 針先が磨耗すると音質が悪くなります。また、レコードを傷める原因にもなります。
- 針を交換する際は、必ず本製品の電源をオフにしてください。
- 針を交換する際は、ヘッドシェルをしっかりと持ちください。

# Bluetooth接続

## 本製品で再生した音楽をBluetoothスピーカーに出力する

本製品にはBluetoothトランスミッターが内蔵されており、本製品で再生したレコードの音楽を外部のBluetoothスピーカーからワイヤレスで聴くことができます。接続範囲は約10メートルです。

- ① Bluetoothスピーカーの電源をオンにし、ペアリングモードにします。
- ② 電源 / 音量ダイヤルをカチッと音がするまで時計回り（右回り）に回し、電源をオンにします。  
なお、PHONO/Bluetoothボタンは押しません。
- ③ 本製品とBluetoothスピーカーが接続されると、本製品で再生したレコードの音楽がBluetoothスピーカーから出力されます。

- ペアリングした後に別のBluetoothスピーカーと接続する場合は、Bluetoothスピーカーの電源をオフにし、再度別のBluetoothスピーカーと上記の接続の手順を行ってください。
- 音量を調整する場合、本製品とBluetoothスピーカーの両方の音量をゆっくり調整してください。
- Bluetoothスピーカーの操作は製品によって異なります。詳しい操作方法はスピーカーのマニュアルを参照してください。
- 再生が終わったら、本製品の電源をオフにしてください。また、Bluetoothスピーカーの電源もオフにしてください。

# Bluetooth接続

## 本製品のスピーカーからBluetooth機器の音楽を出力する

下記の手順でBluetooth機器と接続し、本製品のスピーカーから音楽を出力します。

- ① 電源 / 音量ダイヤルをカチッと音がするまで時計回り（右回り）に回します。電源がオンになります。
- ② PHONO/Bluetooth ボタンを押します。Bluetooth LED インジケーターが青色に点滅し、Bluetooth ペアリングモードになります。
- ③ スマートフォンなどのBluetooth機器のBluetooth機能をオンにします。
- ④ スマートフォンからBluetooth機器を検索し、本製品のデバイス名「JA3-RPL0001」を選択して接続（ペアリング）します。正常に接続されると、本製品のBluetooth LED インジケーターが青色の点滅から点灯に変わります。
- ⑤ Bluetooth機器の音楽を再生すると、本機のスピーカーから音声が出力されます。

- ペアリングした後に別のBluetooth機器と接続する場合は、先にペアリングした機器のペアリングを解除するか、Bluetoothをオフにします。本製品のBluetooth LED インジケーターが点滅するので、再度別のBluetooth機器から上記の接続の手順を行ってください。
- Bluetoothの操作は製品によって異なります。詳しい操作方法はBluetooth機器のマニュアルを参照してください。
- Bluetooth機器がA2DPプロファイルをサポートしていない場合、ペアリングされていても、スピーカーから音楽は出力されません。
- 再生が終わったら、本製品の電源をオフにしてください。また、Bluetooth機器の電源もオフにしてください。

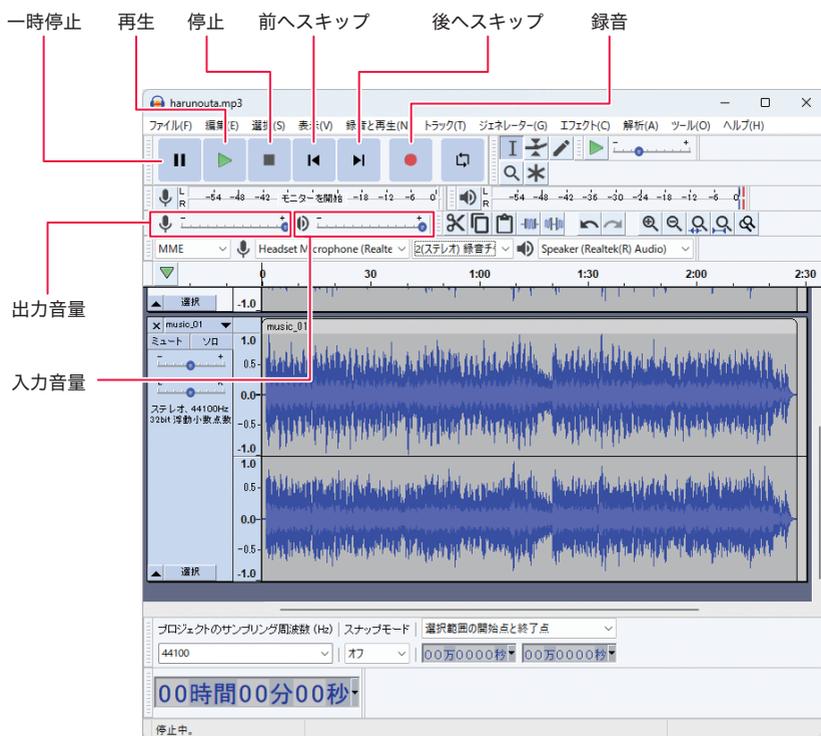
# パソコンとの接続

## パソコンに録音する

本製品付属 CD から音声録音ソフトウェア「Audacity」をインストールできます。ここでは Windows パソコンでの Audacity の使い方をかんたんに説明します。

### Audacity の画面

画面上部のツールバーを使用して、音楽を録音したり、録音した音楽を再生したりできます。



録音ボタンをクリックして録音を開始すると、左右のトラックが画面に表示されます。録音時にインターフェイスに波形が表示されない場合は、入力音量バーを調整してください。入力音量バーと出力音量バーをスライドさせて、入力音量と出力音量を調整します。

# パソコンとの接続

## Audacityの操作

- ① 本製品付属CDから、お使いのパソコンにAudacityをインストールします。
- ② 本体の電源をオンにしてから、付属のUSBケーブルを使用して本体のUSBポートをお使いのパソコンに接続します。パソコンに接続した本製品はUSBマイクデバイスとして認識されます。
- ③ 「Audacity」を開き、「編集」タブ→「環境設定」をクリックします。
- ④ 「録音」の「デバイス」のドロップダウンリストから、「マイク (2- USBAudio2.0)」を選択し、「チャンネル」のドロップダウンリストから、「2 (ステレオ)」を選択し、「OK」をクリックして設定ウィンドウを閉じます。
- ⑤ 録音するレコードを再生します。
- ⑥ 画面上部のコントロールパネルの赤色の録音ボタンをクリックします。録音されると、ソフト上で波形が動いているのが確認できます。また、パソコンのスピーカーからレコードの音楽を聞くことができます。
- ⑦ 録音を終了する場合、コントロールパネルの停止ボタンをクリックします。
- ⑧ 「ファイル」タブ→「プロジェクトファイルの保存」をクリックします。
- ⑨ コントロールパネルの緑色の再生ボタンをクリックすると録音した音楽を再生できます。

- AudacityはGNU 一般公衆利用許諾書 (GPL) に基づいてライセンス供与されたフリーソフトウェアです。オープンソースコードと同様の詳細情報は、付属CD、またはWebサイト <http://audacity.sourceforge.net/> で参照できます。

# トラブルシューティング

故障かなと思ったら、次の点をご確認ください。

レコードを再生しても音が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"><li>○針がヘッドシェルに正しく取り付けられているかご確認ください。</li><li>○針先が正しくレコード盤に下りているかご確認ください。</li></ul>
回転数が正しく再生されず、音程がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"><li>○回転数セレクターがレコード盤の回転数に合った正しい回転数に設定されているかご確認ください。</li></ul>
レコードの回転が自動的に停止してしまう。	<ul style="list-style-type: none"><li>○オートストップ機能がオンの場合、針がレコードの内側に近づくと自動的に回転が停止します。オートストップは33回転のレコードが対象ですが、場合によっては音楽再生中に回転が停止する場合があります。その場合はオートストップ機能をオフにしてください。</li></ul>
Bluetoothスピーカーとペアリングできない。	<ul style="list-style-type: none"><li>○周囲のほかのBluetooth機器の電源を切り、ご使用のBluetoothスピーカーをなるべく本製品の近くに移動してください。</li></ul>
Bluetoothスピーカーとペアリングしたが音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>○Bluetoothスピーカーに再生・停止ボタンがある場合、そのボタンを押してください。</li><li>○Bluetoothスピーカーの音量を確認してください。</li><li>○本製品の電源/音量ダイヤルを調整し、音量が小さくなっていないかご確認ください。</li><li>○本製品の電源を一旦オフにした後、再度オンにし、PHONO/Bluetooth ボタンを押して再度ペアリングしてください。</li></ul>
本製品をパソコンに接続したが、接続したパソコンから音が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"><li>○付属のUSBケーブルでパソコンと接続されているかご確認ください。</li><li>○ソフトウェアの音量が小さくなっていないかご確認ください。</li><li>○パソコンの音量が小さくなっていないかご確認ください。</li><li>○本製品がパソコンのUSBマイクデバイスとして認識されていない可能性があります。USBケーブルを抜き、本製品の電源をオフにします。再度本製品の電源をオンにしてから、USBケーブルでパソコンと接続し直してください。</li><li>○パソコンのノイズキャンセリング機能がオンになっていると、低音域や高音域が正しく聞こえない、または、録音されない場合があります。パソコンに接続する際は、パソコンのノイズキャンセリング機能をオフにしてください。詳細はパソコンのマニュアルを参照してください。</li></ul>

# 主な仕様

製品名	aiwa audio RPB
型番	JA3-RPL0001
回転数	33-1/3回転、または45回転
Bluetooth®	Bluetooth 5.3
入出力端子	USBポート、RCA出力端子、DC端子
スピーカー	1.5W 4Ω ×2
電源	AC電源アダプター (9V 1A)
外形寸法	(W) 約318 × (D) 約323 × (H) 約137 mm
重量	約2kg
動作温度/湿度	温度：15°C～40°C、湿度：40%～80% (結露なきこと)
生産国	中国

■すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

○aiwa およびaiwa ロゴはアイワ株式会社の登録商標です。

○Bluetoothは米国内におけるBluetooth SIG Inc.の登録商標または商標です。

○そのほか、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

# アフターサービス

## 保証書について

- 保証書は本書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
- 保証規定は、本書に記載されておりますので、よくお読みください。

## 修理をご依頼の際は

- お問い合わせいただく前に、本マニュアルの「トラブルシューティング」のページをよくお読みください。
- ユーザーマニュアルの内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には、サポート窓口にお問い合わせください。

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

製品に関するお問い合わせ先

### サポートセンター



**0120-685-037**

携帯電話から **050-2018-6203** (有料)

受付時間 10:00~12:00、13:00~17:00  
(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス : [support@aiwa.net](mailto:support@aiwa.net)

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

# aiwa

aiwa.net

website



X



Facebook



ID : @aiwamarketingjp

製品名:aiwa audio RPB

販売元:アイワマーケティングジャパン株式会社

1-00240117

# 保証無償修理規定

保証書は、保証規定により無償修理させていただくことをお約束するものであり、この保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- お客様が取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書を守り、正常な状態でご使用になっていたにもかかわらず、保証期間中に故障した場合は、商品に保証書を添え、サポート窓口に修理をご依頼ください。無償修理をさせていただきます。  
尚、サポート窓口へご送付いただく際の送料、諸掛りはお客様のご負担となります。  
※ネットオークションやフリーマーケットなどでお買い上げいただいた場合、保証が適用されない場合があります。
- 保証の対象となる部分は本体のみです。付属品（USB ケーブルなど）や消耗品類は保証の対象外です。
- 以下の場合、保証期間内でも有償修理になります。
  - ご使用の誤り、および不当な修理や改造（塗装、外装の装飾、純正外ケースへの変更含む）、分解などによる故障および損傷
  - お買い上げ後の落下や輸送上の故障及び損傷
  - 人的災害、自然災害、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷（水濡れ、水没、充電端子・ディスプレイ・外装などの破損含む）
  - 一般用途以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）での使用による故障及び損傷
  - 保管やお手入れの不備による故障及び損傷
  - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷、腐食による故障及び損傷
  - 故障の原因が本製品以外（電源など）にあって、それを点検、修理した場合
  - 付属品類及び消耗部品の損耗交換の場合の部品代
  - ソフトウェアの改変などに伴うデータやアプリケーションの消失、動作不良
  - 追加アプリインストールに伴うデータやアプリケーションの消失、動作不良
  - 保証書のご提示がない場合
  - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 日本国外で使用された場合
- 本製品での使用や、本製品の故障に起因する付随的損害（記録や再生により要した諸費用や、得べかり利益の損失、データやそのほか機器の破損や損害など）については、当社は一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

